

進化するネズミ「スーパーラット」

みなさん、こんにちは。

穀物繊維をテーマに雑穀・大麦・シリアルを提案しています
ライスアイランドメールマガジン♪

さて、今回はネズミについて発信します！

ミッキーマウスのように可愛いネズミであれば良いのですが、
私たちの健康・経済において脅威となるスーパーラットというネズミです。

■進化するネズミ

ここ数年、殺鼠剤をいくら使ってもなかなか死なない

「スーパーラット」が年々増加しているそうです。

(いかにも強そうな名前・・・；)

これまでと同じような薬剤を使い続けてきた結果、
抵抗力を持ってしまったということです。

海外では、このようなスーパーラットが原因で
感染症の報告例もあり、健康への影響も懸念されています。

国内で繁殖するスーパーラットのほとんどが「クマネズミ」

都内にいるクマネズミのうち、場所によっては

8割以上がスーパーラットのところもあるそうです。

■驚異的な抵抗力を持つスーパーラット

クマネズミを使って殺鼠剤の効果を検証した事件では、
奄美大島で捕獲した46匹と新宿の21匹を比較。

いずれも同じ濃度の殺鼠剤を含ませたエサを毎日与えたところ、
奄美大島のクマネズミの場合は、最も長生きして14日間。

そして新宿のネズミは、平均160日間生きて、

最長だと441日も生き延びたのだそうです。

驚異的な数字ですね・・・

スーパーラットはペストをはじめ、ウイルスや細菌、毒素といった様々な病原体を持っています。米国や南米諸国で、尿や唾液が人の傷口から入り、致死率が60%と恐れられている感染症「ハンタウイルス肺症候群」にかかる例もあるというのです。

都心などに生息するスーパーラットもウイルスや毒素を持っている可能性が高く、決して対岸の火事ではないです。さらに、室内に侵入し、配線などを食いちぎると最悪火事を引き起こす原因にもなります。健康面だけでなく、経済的な損失にも発展しかねないです。

国内で使われている薬剤の主成分は、血を固まりにくくする「ワルファリン」ワルファリンを連続摂取させると、血液が勢いよく流れて血管がもろくなり、内臓や皮下などで出血しやすくなり出血死するという構造。

国内のスーパーラットのほとんどが、肝臓でワルファリンをすばやく代謝して、体内で作用しはじめる前に体外へ排出する酵素を持つことを研究で突き止められているようです。生き残ったネズミの子孫が抵抗力を持つようにまさに進化しているのです。

一方で、海外で実施した調査では、欧州、中国や韓国で見ついているスーパーラットは、アミノ酸を作り出す遺伝子の配列が一部変異したネズミが多いことも分かっており、この遺伝子変異によってワルファリンの効果が薄れると指摘されています。

■より強力な薬剤を使えばいいのか？対策は？

欧州のスーパーラットは、欧州で認可されている強力な殺鼠剤も効かないほど強いようです。

このネズミが日本にも入ってくれば殺鼠剤で防除できず深刻さが増すことが指摘されています。

では、欧州で使用されているような殺鼠剤を使えば良いのでしょうか？

人が誤飲した場合の解毒剤がないという問題があるようです。
そして、ネズミをエサとするワシなどの猛きん類や野鳥までを
殺してしまう危険性もあることが懸念されているため
生態系を壊してしまうことにも・・・

スーパーラットとはいえ、習性は普通のネズミと同じ。
ネズミは夜行性の動物で、暗いところや狭いところ
人の気配が感じられないところに住み着きます。
天井裏や壁の間に巣を作り、配管などを通路にして行動するのが特徴です。
大事なものは食べ物を与えない、巣の材料になる紙類を捨てる、
部屋を整理整頓して巣の場所を与えない、隙間を塞ぐこと。
一般家庭においても、工場においても他人事ではない問題です。

株式会社ライスアイランド

(岐阜本社) 岐阜県岐阜市香取町3丁目38番地

TEL 058-253-0303 FAX 058-252-5115

(東京営業所) 東京都千代田区有楽町2-10-1 交通会館1F

TEL 03-5288-7700 FAX 03-5288-7701

※アンテナショップ【穀物繊維倉庫】も併設！

